

福祉ぐんま

2021 WINTER

No. 275

県内の買い物支援の様子
株式会社フレッセイの移動販売車「フレッシュ便」



CONTENTS

特集 P2・3

コロナ禍でもつながりを、できることから。

P4 TOPICS

- 動画公開 ～地域共生社会の実現に向けて～
- コロナ禍における介護支援専門員研修、教育・保育のキャリアアップ研修より
- 県社会福祉法人経営者協議会セミナーより
- 令和2年度新任民生委員・児童委員研修会より

P6

- ◆ 令和2年度群馬県社会福祉大会が開催されました
- ◆ まちの社協レポート ～前橋市社協～

P7

- ◆ つながる福祉 インタビュー
- ◆ 県社協会員紹介

P8

- ◆ 年頭のごあいさつ
- ◆ INFORMATION
 - 特別賛助会員の募集
 - SDGsとは??

つながる福祉

株式会社フレッセイ
営業企画部 営業企画室マネージャー
阿部 利光さん
〔関連記事は7ページ〕

ホームページは
下記のQRコード
からアクセスして
ください。

17 パートナースhipで
目標を達成しよう



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



新たな地域福祉活動の実践！

桐生市

第14区 梅田町1丁目

瀬たらぎサロン 代表・第14区民生委員・児童委員 砂田さん

コロナ前 ⇒ 特別養護老人ホーム内の地域交流スペースをお借りして介護予防体操や手芸など多様なプログラムを実施。

ウィズコロナ ⇒ 感染対策を徹底（3密を避ける・換気・マスク着用・検温・参加者の把握）し、手芸中心に。開催は週1回から月1回に、会場は地域の集会所へ、プログラムも簡易なものに。

■ まずは行うことが大前提！感染対策しっかり！ 自宅で取り組む手芸

- ▶ 入居者を含めたサロンが実施できない状況が続いていた。参加者の交流をしたいという気持ちを大切に、出来ることの検討を始めた。
- ▶ 開催頻度が減ったことにより、手芸に必要な物品を渡し、次回までに作成してもらい、継続して自宅で取り組めるような仕組みとした。



福祉従事者に感謝を込めてマスクを作成

■ マスク、シトラスリボン作り

- ▶ 福祉従事者にマスクを作成したり、感染された方や医療従事者が、それぞれの暮らしの場所で「ただいま」「おかえり」と受け入れられる雰囲気を作り、思いやりがあり暮らしやすい社会を目指す「シトラスリボン」を作成した。リボンは、市役所窓口や社協にお渡しした。



地域・家庭・職場(学校)を示す3つの輪のシトラスリボンを作成

今後の予定

- 感染拡大防止策を徹底し、現在の形式でのサロン活動を継続していく。オンラインでのつながり作りも検討したい。
- コロナ禍はサロン活動や地域福祉活動の存在価値を改めて考えさせる機会となった。平穏な社会があつてのサロン活動。高齢者の交流の場のみならず、活動を通じた社会貢献の取り組みへのステップの場としていきたい。

取材の様子



太田市内高齢者サロン



嬬恋村内高齢者サロン

* サロンとは地域にお住まいの住民が気軽に集える、「仲間づくり」「健康づくり」等を行える場所のこと。

（太田市、嬬恋村、前橋市のサロンを取材しました）

今年度、ふれあい・いきいきサロンブロック別研修会に代わって、サロン活動を再開する際の留意点をまとめた動画を制作しています。完成後、行政、社協に配布予定です。コロナ禍という状況にも負けて工夫して活動している地域の方々の様子を、ぜひご覧ください。

ふれあい・いきいきサロン
活動事例DVD制作中

県社協の取り組み（地域福祉課）

新型コロナウイルス感染拡大は、私たちの生活に大きな影響を及ぼし、これまでと同じような地域福祉活動を進めていくことが難しくなっています。感染状況は長引くことが予想され、今後も「ウィズコロナ」で、留意しながら、住民を孤立させない活動を進めていくためにはどうしたらよいのか、悩ましいところです。このような状況下でも、新たな取り組みを取り入れるなど、模索しながら活動を継続している事例の一部と県社協の取り組みを紹介します。

高崎市

上中居地区第一町内会 自治会長 牧田さん

みんなの居場所コミュニティカフェ休さん 代表 設楽さん

「無事かえる」キャラクターで
ジャンパーと帽子を作成



コロナ前 ⇒ 町内会の集会所で週1回開催（カレーの日・居場所）。集会所では他にも手芸・料理・ストレッチ、男クラブ、卓球の日等の活動がある。町内の課題として、多世代の顔の見える関係がなかなかなかった。

ウィズコロナ ⇒ 感染対策を徹底（3密を避ける、料理をしない、換気、手洗い、消毒、マスク〔フェイスシールド〕）し、交流を維持。コロナの影響を一つのきっかけに、見守り活動の必要性を実感。9月から、助成金を活用し、高齢者や子どもなど町内会で多世代が関わる見まもり隊を開始。子どもの安全や地域防災の活動も兼ねながら実施。

■ 町内の新たな支え合い「^{かみいち}上一見まもり隊」発足！

- ▶ これまでも気になっていた孤立しがちな高齢者の家庭を定期的に見回り、声かけ運動を開始。
- ▶ 子どもの登下校時に交差点や危険な場所等の見守り活動、災害時の避難経路や防犯上危険箇所の見回りを実施。
- ▶ 見守りは、多世代が活動しやすいよう、平日昼間（週3回程度）と土曜日（月2回程度）に設定。「できる人が集会所に集まり、町内の人が無理なく参加できる」こととし、見守りをきっかけに、町内の顔と顔が見える関係をつくりたい。

■ 見守りを通じたつながり作り

- ▶ 見守りは、色々な世代が参加し、新たなつながりができている。ウォーキングしながら、町内の方や児童等に挨拶をし地域を見守ることで健康増進にもなっている。犬の散歩やゴミ拾いをしながら見守り活動を行っている。
- ▶ 出掛けられる場所があることで、町内の交流を継続している。



健康体操

今後の予定

- コロナ禍でも居場所を継続的に実施していく。見守りは企業の協力を得られるように働きかけたい。
- 住民が互いに声を掛け合い、交流しながら健康維持に努めたい。



干支飾り製作

藤岡市

上落合婦人の集いの会（美土里地区） 代表 浅見さん

コロナ前 ⇒ 参加者の希望を聞きながら公会堂内でサロンを中心に活動。

ウィズコロナ ⇒ 屋外での活動に切り替えた。サロンで上落合公会堂周辺3ヶ所の花壇のお手入れをしている。ゴミ拾いや、家庭に持ち帰る用の寄せ植えをすることも。



青空の下で花壇のお手入れ

■ ピンチをチャンスに！～お花で地域に彩りとつながりを～

- ▶ 発想の転換で、顔の見えるつながりを大切にする方法を考え、元々、町内にあった花壇を有効に使い、体を動かし、おしゃべりをし、地域を花で明るくしようと取り組んでいる。
- ▶ 集まったら、短時間集中して、さっと解散！
これまでも花に接してきたことから、屋外活動への変化には柔軟に対応できている。



冬の花で寄せ植え

今後の予定

- 定期的開催していきたい。

■ 市内全域でNO密みまもりプロジェクト ～マスクで安心つながりマスク～

藤岡市社協

- ▶ 6月から生活支援体制整備事業の一環として、地域の方にマスクを届け、お互いに声を掛け、見守り合うプロジェクトを開始。市内8地区の協議体や民生委員、高齢者サロンの方達などにも呼びかけ、感染防止に配慮しながら、今できることを考え、地域の支え合いやつながりを続けていこうと活動している。外出も減る中、様子を伺いがてらマスクを届けて交流している。



「下郷寿会」からサロンがお休みで会えない地域の皆さんにマスクを届けました。

布やマスク
の寄附

ボランティアがマスク製作

ちょっと気になる方やサロンの
仲間に配布。見守りになっている。

受け取った方が自分にもできることを！と
協力してくれることも。（製作や口コミ）

1

動画公開

～地域共生社会の実現に向けて～

社会福祉法人の公益的な取り組み テーマ別実践発表会・情報交換会 より

社会福祉施設を運営してき

た社会福祉法人は、自治体や
社会福祉協議会等との連携の
もと、これまでに培ってきた
専門性と地域との関係性を土
台にしながら、制度の狭間に
ある課題と向き合い、地域に
おけるソーシャルワークの中
核として、地域共生社会の実
現に向けた包括的な支援体制
の一翼を担うことが期待され
ています。

県社協では、社会福祉法人
の地域における公益的な取り
組みの一層の促進を図ること
を目的に、テーマ別の実践発
表会を開催しました。
各社会福祉法人の取り組み
実践については、県社協の
ホームページにて動画を掲載
してありますので、ご覧いた
だけたらと思います。

各法人のテーマ別実践発表内容

① 法人で取り組む多様な地域貢献・ 地域交流等の取り組み

- 子どもの福祉会（高齢・認知）
～制度の狭間に挑戦する社会福祉法人～
- 植竹会（高齢・認知）
～地域における公益的な取り組みについて～
- 清光会（高齢・児童）
～地域と連携した独居世帯への支援等の活動～

② 子どもの居場所

- 吉栄会（認知）～まちのリビング kdsaoo～
- 榎桐会（障害）～食育レストラン「晴れの日」～
- 豊延会（高齢・障害）
～地域住民と連携した子ども食堂の取り組み～

③ 食事支援・配食サービス等について

- 後閑あさひ福祉会（保育）
～独居老人世帯への食事提供等～
- 希望館（高齢・児童）
～独居高齢者に向けた365日3食の配食サービス～
- 同仁会（高齢・救護）
～配食サービス等の活動～

④ 移動支援・福祉有償運送等の取り組み

- 永光会（高齢）
～福祉有償運送事業活動報告等～
- 圓会（高齢）～福祉有償運送等の取り組み～
- 尾瀬長寿会（高齢）
～過疎地域での移動支援等の取り組み～

2

コロナ禍における介護支援 専門員研修、教育・保育の キャリアアップ研修より

県社協（福祉人材課）では、研
修事業の充実による人材育成に向
けて、様々な研修を実施していま
す。

主な研修として、福祉従事者の
養成研修として階層別による研修
や介護支援専門員の確保及び資質
向上のための介護支援専門員現
任・更新研修等、教育・保育の
キャリアアップ研修があります。

今年度は、コロナウィルス感染
症の影響により、研修体制も大き
く変化しています。

介護支援専門員研修、教育・保
育のキャリアアップ研修では、従
来の集合研修に加え、YouTube
等を活用したオンデマンド型研修
も導入しています。

集合研修では、定員数の縮小や
受講者間の距離を確保した座席の
配置、アルコール消毒液の設置、
定期的な換気等を実施し、万全な
体制で研修を行っています。

今後とも、状況の変化に対応し
ながら、皆様に満足のいただける
ような研修をご提供していきま
す。

..... 感染症予防対策



3

県社会福祉法人 経営者協議会セミナーより

令和2年11月9日、10日の2回に分けて、県社会福祉法人経営者協議会セミナーを開催しました。

全国社会福祉協議会の鈴木法人振興部長を講師として、全国社会福祉法人経営者協議会における感染症対策、災害支援方策等の取り組みを紹介いただき、その後、本県において、モデルとして社会福祉法人・福祉施設のBCP（事業継続計画）を策定してきた3つの法人から実践報告をいただきました。

BCPをモデル策定した3つの法人は、平成28年度、29年度に、群馬県災害福祉支援ネットワーク「施設間相互応援協定」に基づく図上訓練の中で、利用者の避難確保等が必要な事業所として選定した事業所で、図上訓練での取り組みを契機に、土砂災害や浸水害による事業所に対するリスクを確認し、避難確保計画を策定、その後、BCPを策定していったこと、そして、策定した計画を有事の際に動ける

仕組みとしていけるよう継続した訓練や内部研修を通じて、平時から体制整備を図っていること等を紹介いただきました。



BCP策定法人の実践報告

4

令和2年度 新任民生委員・児童委員研修会 より

令和元年度の一斉改選により、新たに民生委員・児童委員に選ばれた約1900人の方々を対象に開催。今年度は、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、参加人数を縮小し、県内各地の会場にて、計36回にわたり映像を用いた形式で行いました。

今回の研修会を通し、今までとは違った「新しい生活様式」につながる民生委員児童委員活動ができることを願います。



先輩委員による助言（南牧村）



情報交換の様子（みなかみ町）



映像研修の様子（太田市）

令和2年度

群馬県社会福祉大会が開催されました

令和2年11月17日（火）、群馬県・群馬県教育委員会・群馬県社会福祉協議会・群馬県共同募金会の主催により、群馬県庁正庁の間において「令和2年度群馬県社会福祉大会」を開催しました。

この大会は、県内の社会福祉の第一線で活躍している関係者が一堂に会し、県民福祉の向上を図るため開催するものですが、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、規模を縮小しての開催となりました。

式典では、山本知事の挨拶に続き、県知事表彰、福祉ボランティア顕彰、県社会福祉協議会会長表彰・感謝、県共同募金会会長表彰の授与が行われ754個人・団体の皆様が受賞されました。

受賞者の皆様の功績と苦勞を讃えますとともに、今後ますますのご活躍をお祈りいたします。



山本知事挨拶



県社協会長表彰状授与の様子

まちの
社協
レポート

各市町村社協の
取り組み、活動を
レポートします

町社協設立モデル事業が

スタートしました。

前橋市社協では、支え合いの活動を進めていく圏域を自治会単位として、令和2年度から「町社協設立モデル事業」を始めました。町社協は、住民主体の支え合い活動を具体的に進めることを目的としています。

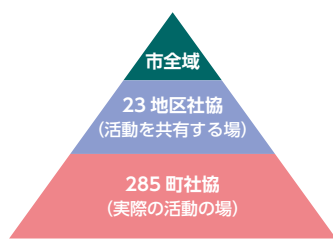
また、「支え合いの手引き」を作成し、町社協の設立から住民が主役となって地域の生活課題を解決できる仕組みづくりまでをわかりやすく解説し、活用しています。現在、21か所の町がモデル事業に取り組んでいます。

今後、町社協活動が市内全域に広がり、定着するよう市社協も尽力していきます。

〔生活支援コーディネーターの視点から〕

芳賀地区小坂子町では、町の福祉活動の一元化を図り、『住んで良かった郷土づくり』に向けて小坂子町社会福祉協議会を設立しました。交流・見守り活動の基盤があることで、新たな福祉活動が芽吹くきっかけとなりました。

（芳賀地区担当 勝山征彦）



地域福祉推進の圏域設定の考え方

社会福祉法人
前橋市社会福祉協議会

〒371-0017 群馬県前橋市日吉町2-17-10

（前橋市総合福祉会館 3階）

TEL 027-237-1112

FAX 027-219-0337



前橋市社会
福祉協議会
ホームページ



小坂子町社会福祉協議会設立総会

県内外に51店舗を展開する株式会社フレッセイ。地域密着型のスーパーマーケットとして身近な存在ですが、そのフレッセイが、買い物支援として移動販売車「フレッシー便」の取り組みを進めていることをご存じでしょうか。営業企画部の阿部利光さんに、詳しくお話をうかがいました。

❖ 移動販売車「フレッシー便」スタートの経緯や概要について教えてください。

県内で介護事業を展開されているMWS日高様から問い合わせいただいたことがきっかけです。当時、施設利用者様から、買い物物同行や行き帰りにスーパーに寄りたいという声が多数あり、あちこち問い合わせをされた中で、最後に弊社にご連絡をいただいたそうです。弊社としても、「地元への恩返し」が何かできないかと模索していたため、前向きに検討することになりました。それから1年ほどの準備期間を経て、MWS日高様との協働事業として、2012年から本格的に移動販売をスタートさせることができたのです。

❖ 介護施設との協働の効果はどんなところに感じますか。

お客様から「『フレッシー便』が来るから日高に来るんだよ」などの言葉をいただくことや、いがいを感じますし、買い物を通して社会参加の喜びを感じていただいたり、リハビリに役立っていることをたいへんうれしく思います。MWS日高様とは月1回、情報共有のための打ち合わせを行います。お互いの要望や情報を共有し、これまでも袋詰め台や購入商品を保存するための冷蔵庫の設置など対応いただきました。労力を惜しまずに協力してくださるので、たいへん強いです。

❖ 買い物弱者支援地域からの要請にも積極的に応えていらっしゃいますね。近所のスーパーマーケットが撤退し

てしまった、運転免許証の返納後に買い物に行けなくなつてしまった、など、買い物弱者の課題は年々深刻化しています。例えば前橋市内では、高花台地区、城南地区などが早くからそうした課題を抱えて行政などに働きかけを行っていたようです。地域の皆様には本当に熱心にご協力いただいていて、例えば高花台地区では「営業日」ののぼり旗を作つて販売日当日に設置していただいたり、袋詰めや買物のフォローもいただいています。なにより地域の皆さんと私たちの懸け橋となつていただいているという面でも、とても大きな存在です。

❖ 今後の取り組みについて教えてください。

このコロナ禍の中、移動販売へのニーズの高まりも感じましたし、今後も継続したいです。また、フレッセイでは「フレッシー宅配便」という、店舗で買い物した商品をその日のうちに自宅にお届けするサービスを前橋市内の5店舗で行っており、これらの需要も高まっていることから、利用できる店舗を広げられたらと思つています。今後も「地元への恩返し」をモットーに、地域の皆様の買い物支援を継続していきたいと考えています。



阿部 利光さん

県社協会員紹介

助け合い、支え合う、県社協の仲間を紹介します

群馬県住民参加型在宅福祉サービス団体連絡会

住民参加型在宅福祉サービスとは

住み慣れた地域での助け合いの気持ちを基本に育児・介護や家事などのお手伝いをする、営利を目的としない有償・有料のサービスです。サービスを利用する人も提供する人も、共に団体の会員となり、制度の狭間にあるニーズに柔軟に対応する活動を進めています。

群馬県住民参加型在宅福祉サービス団体連絡会は、これらのサービスを提供する団体が集まって構成されています。地域住民のニーズに対応したサービスのあり方、各団体共通課題の解決策に関する情報交換や研究等を行っています。



実技演習の様子▶

◀ 移送サービス運転協力者講習会



各種講習・研修を実施

- 国土交通大臣認定 移送サービス運転協力者講習会
- 福祉サービス送迎運転協力者講習会
- セミナー、講演会、情報交換、各種研究等



社会福祉法人
群馬県社会福祉協議会
会長 川原 武男

新年明けましておめでとうございます。
新型コロナウイルスの感染拡大により、社会全体が大きな不安に包まれておりますが、「新しいつながり」の構築に努めるなど、コロナ禍における地域福祉活動に日々奮闘されている皆様に心から敬意を表し御礼申し上げます。

今年は、4月に施行されます改正社会福祉法により、地域共生社会の実現に向けて、包括的な支援体制を構築していくことが本格化して参りますが、これを新たな時代における地域づくりの好機ととらえ、皆様とともにオールぐんまを取り組んで参りたいと考えております。
新型コロナウイルス感染症が一刻も早く収束し、今年が平穏な年になりますことをお祈り申し上げ、新春のご挨拶とさせていただきます。

「5つの場面」に 気をつけよう

- 1 飲酒を伴う懇親会
- 2 大人数や長時間の飲食
- 3 マスクなしでの会話
- 4 狭い空間での共同生活
- 5 居場所の切り替わり

換気を良くして
三密を避けよう！



いつでもマスク
手洗い消毒忘れずに！

INFORMATION

SDGs とは ??



SDGs(エス・ディー・ジーズ)は「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会を実現するための2030年までの国際目標です。

17の目標(ゴール)から構成されており、世界中の国が取り組むべきものとされています。SDGsを意識することは、持続可能な地域共生社会づくりにもつながります。



特別賛助会員の募集

群馬県社会福祉協議会は、県民の皆様や関係機関、団体等と連携を図りながら、様々な事業を展開し地域福祉の推進に取り組んでいる民間の組織です。だれもが人として尊厳をもって、住み慣れた家庭や地域のなかで、その人らしく安心していきいきと暮らせる福祉のまちづくりを目指しています。本会の趣旨、目的にご賛同いただき、特別賛助会員としてご支援・ご協力をお願いします。

- 会 費** 1口 10,000円
加入条件 社会福祉事業に関心を持ち、本会の目的及び事業に賛同する企業・団体又は個人
その他 特別賛助会員の皆様には、本会機関誌をお送りさせていただきます。

問い合わせ先：群馬県社会福祉協議会 総務企画課
☎ 027-255-6033

福祉くんま

編集／発行

社会福祉法人 群馬県社会福祉協議会

*福祉くんまは、群馬県社協ホームページでも
ご覧になれます。

〒371-8525 (専用郵便番号)
群馬県前橋市新前橋町13-12
群馬県社会福祉総合センター内
TEL 027-255-6033 (代表)
FAX 027-255-6173
URL <https://www.g-shakyo.or.jp/>
発行日 令和3年1月1日

あとがき

今年は、丑年です。正式には辛丑。甲・乙・丙・丁・戊・己・庚・辛・壬・癸の十干の干、十二支の支を組み合わせ「干支」と言われています。その組み合わせは60通りあり、60年で一巡。還暦まで毎年干支が異なるということに。

今年の干支である牛は、昔から『粘り強さと誠実さ』の特徴があるとわれ、日本人の性格と類似する表現の一つと言えます。

東京五輪・パラ五輪への注目が高まる中、日本人の『誠実で粘り強い』特徴を発揮し、平和の祭典が成功することを期待したい。

編集委員 甘楽町社会福祉協議会 山田 剛